

1984 (1984)

NINETEEN EIGHTY-FOUR

メディア 映画

ジャンル SF ドラマ

製作国 イギリス

色彩 Color

時間 113分

初公開日 1985/11/05

公開情報 松竹富士

【解説】

1984年、国はリーダー的存在であるビッグ・ブラザーのもとに全体主義を敷き、他国と戦争を繰り返していた。ウィンストンの勤務する記録局では、過去から現在までの記事や文書など事実に至るものまで国家の意向で修正、削除し、国民への情報操作に余念がない。市民レベルにおいても警察が厳格に取り締まり、個人の自由が制限されていた。そんな中、ウィンストンはいつしか国家体制に疑問を抱き始める。ある日、若い女性ジュリアと出逢うウィンストン。やがて、2人は恋に落ちるのだが…。

恋愛すらも禁じられたデストピアを描くG・オーウェルの“未来小説”を、実際に84年となった時点で映画化した、ただ重苦しいだけの作品。これが遺作となったバートン（管理社会の管理されるリーダーを演じた）には本当に死相が漂ってるし、骨子となるべき、権力に逆らい愛を貫こうという男女（J・ハートとS・ハミルトン）の描き方も曖昧模糊として、なんとも掴みようのない暗いイメージの連なりに陥っている。

【クレジット】

監督	マイケル・ラドフォード	Michael Radford	
製作	サイモン・ペリー	Simon Perry	
製作総指揮	マーヴィン・J・ローゼンブラム	Marvin J. Rosenblum	
原作	ジョージ・オーウェル	George Orwell	
原案	ジョナサン・ジェムズ	Jonathan Gems	
脚本	マイケル・ラドフォード	Michael Radford	
撮影	ロジャー・ディーキンス	Roger Deakins	
音楽	ユーリズミックス	Eurythmics	
	ドミニク・マルドウニー	Dominic Muldowney	
主題歌	アニー・レノックス	Annie Lennox	
	デヴィッド・A・スチュワート	David A. Stewart	
出演	ジョン・ハート	John Hurt	ウィンストン・スミス
	リチャード・バートン	Richard Burton	オブライエン
	スザンナ・ハミルトン	Suzanna Hamilton	ジュリア
	シ ril・キューザック	Cyril Cusack	
	グレゴール・フィッシャー	Gregor Fisher	
	ジェームズ・ウォーカー	James Walker	
	アンドリュー・ワイルド	Andrew Wilde	